

## ● 編集後記

21世紀最初の年も、振り返れば「激震」という言葉が飛び交う年でした。狂牛病、同時多発テロ、炭疽菌…。今更ながら「リスクマネジメント」が巷に溢れ、自分の身は自分で守らなければと痛感させられます。情報が世の中を動かす時代に、正確な情報を正しく判断し、適切に行動することが、何より重要であることを思い知らされました。ところで正確な情報はどこにあるのでしょうか？…

今回号も、前号に引き続き「市販直後調査」についてご投稿いただきました。10月より本格施行のこの制度につきましては、各方面より様々なご意見がございます。今後、実施上のメリット・デメリットが、より具体的に出てくるかと思われませんが、会員の皆様には臨場感のあるご意見を今後もお願いいたします。今回号にご寄稿いただいた情報公開法問題を含め、本年本誌で取り上げられたテーマを振り返りますと、リスクマネジメント（市販直後調査 他）とIT（ゲノムも含めて）が多く取り上げられたことに気がきます。

年の最後に、野依良治先生がノーベル化学賞を受賞されたニュースは、明るく勇気づけられるものでした。創意と熱意。そして着実に仕事を進めていくことが大切であることを改めて教えられました。2002年はその心意気をもって編集にあたっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(T.Y.)